

# ～実際に働いて感じたこと 先輩職員の声～



調査部 審理部門

【平成29年度採用】

## 常に新しいことにチャレンジできる職場

### プロフェッショナルを目指して

税関に入関する前は、在日米陸軍基地管理本部に所属する消防隊員として勤務しておりました。米軍基地に勤める消防隊ということもあり、テロ災害が発生した際の対応を学ぶ機会も多く、定期的に米軍と合同訓練を行っておりました。

そのような折に税関の選考採用試験があることを知り、業務内容を調べていくうちに、「今まで培ってきた経験や知識を活かし今後は日本のために働いてみたい、新しいことに挑戦したい。」と思い応募させて頂きました。

### 充実した研修制度

入関後、羽田空港の旅具通関部門を経て、現在、審理部門において、覚醒剤などの薬物密輸入事件の犯則調査を行っております。

最初は新しい分野に戸惑う部分もありましたが管理者である統括官をはじめとした先輩職員の方々のサポートもあり、未経験の業務をどんどん経験させてもらえることで、失敗を恐れず積極的に業務に取り組むことができます。

税関で働いてみて実際に感じたことは、税関の業務は多岐にわたりますが各職場にプロフェッショナルといわれる職員がいるということです。

その背景には、各職員が多くの場面で新しい知識を吸収するための充実した研修制度が整っていることもあると思います。

まだまだ目の前の仕事に精一杯ではありますが、選考採用職員として採用していただいた意味を私なりに理解し、税関という組織に貢献できる働きをしていきたいと考えております。



成田税関支署 旅具通関部門

【令和元年度採用】

## チームの成長を通じて個々の成長を実感できる職場

### これまでの経験や知見で貢献

私は警備会社で主に営業職として勤務してきましたが、他にも在外公館勤務や国際スポーツ大会での海外チームの同行など様々な角度から安全に関わる業務に携わってきました。その中で選考採用試験を知り、税関の使命の一つである「安全・安心な社会の実現」を水際の最前線において今まで培った経験や知見で貢献したいと思い志望しました。

### 水際の最前線で働く使命と誇り

現在、成田空港の旅具通関部門にて勤務していますが、配属直後は幅広い業務内容と職員一人ひとりのプロ意識とスキルの高さに驚きました。コロナ禍での入関だったため、旅客便が激減している中で実践を積めるか不安でしたが、だからこそ積極的に業務に取り組むことと班内研修や選考採用者向けの研修を通じて経験と知識を身につけることができました。

現在所属している旅具通関部門は、班ごとに業務を行うためチームワークが非常に重要であり、各職員の得意分野・苦手分野を補いながら業務に取り組むことでチームとして、また、個人として日々成長できる環境に仕事のやりがいと喜びを感じている毎日です。

これからも実践を積み重ね、部門の中核を担う係長として精進していくとともに、税関は充実した研修制度も特色のひとつですので、様々な分野の知識習得や語学力向上にも挑戦したいと思っています。まだまだ半人前ですが、これからも水際の最前線で働く使命と誇りを胸に「安全・安心な社会の実現」の一助になれるよう努めてまいります。



羽田税関支署 旅具通関部門

【令和元年度採用】

## 海外と接する国際的な職場

### 「安全・安心な社会の実現」のために

私が税関を志望した理由は、税関が海外と接する国際的な職場であること、また、税関の使命の一つである「安全・安心な社会の実現」に関して、水際において不正薬物や拳銃等の密輸入を阻止することで大きく貢献できる職場であると強く感じたからです。

税関に入関する前は、警察官として約14年間勤務しており、不正薬物事件に関わる捜査を行うこともありました。

その際、日本に不正薬物等が流入することを水際で阻止することができれば、不正薬物に関わる犯罪や薬物依存に苦しむ人々などを減らすことができると強く感じ、選考採用試験に応募しました。

### 女性管理職も多義にわたり活躍

現在の職場に配属され一番に感じたことは、業務について上司や同僚が優しく丁寧に教えてくださり大変心強いことです。

さらに、女性管理職の方が多義にわたり活躍されており、男性の育児休暇取得なども進められていて、ワークライフバランスの制度が推進されていることを実感しました。

現在、羽田空港において旅具通関業務に従事していますが、志望動機の一つでもある「安全・安心な社会の実現」に、より一層貢献することが目標です。

今後も初心を忘れずに、これまでの知識や経験を税関業務に積極的に活かしていきたいと思います。